

おおつち 社協会報

No.84
2021.7



【編集・発行】

社会福祉法人 大槌町社会福祉協議会

住所：岩手県上閉伊郡大槌町上町1-1

TEL 0193-41-1511 FAX 0193-41-1512



主な記事

P1 令和2年度 事業報告

P3 令和2年度 決算報告・令和3年度 予算の内訳

P4 令和3年度 事業計画

P5 ふるさと応援センターの紹介

P6 こづちちゃんが行く

表紙の写真

令和3年6月1日大槌町文化交流センター おしゃっちで、おしゃっち・図書館職員向けキャップハンディ体験を行いました。

参加者からは、「声かけの大切さが分かった」、「介助する側とされる側では恐怖心、不安感が違うことが分かった」などの感想が聞かれました。

自治会、企業向けでも体験できますので、希望がある方は、事前に大槌町社協ボランティアセンターにお問い合わせください。

令和2年度の本会事業活動は、大槌町地域福祉推進計画の基本理念である「支え、支えられ、安心と生きがいを育む地域福祉」を達成するため、5つの基本目標のもと各種事業に取り組みました。

一番身近で、頼りになるコミュニティづくり

- ①地域交流用具等の貸出し
自治会へ7件 NPO・ボランティアへ2件 企業・法人へ7件 その他16件
《主な貸出し物品》
テント、長机、パイプイス、キャンプ机、キャンプイス等
- ②お茶っこの会支援事業 ※町の補助事業
14地区 44回開催 延べ859人参加
- ③ふれあい昼食会助成 ※町の補助事業
新型コロナウイルス感染防止のため中止
- ④地域交流サロン
生活支援相談員によるサロン活動 33回開催 延べ154人参加
4月・5月・8月のサロンは新型コロナウイルス感染防止のため中止
- ⑤住民支え合いマップづくり（課題報告会含む）
4地区 7回開催
※7地区での開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため3地区での作成を中止



地域交流サロン



住民支え合いマップづくり

地域福祉の担い手づくり

- ①福祉協力校事業
町内3校（大槌学園・吉里吉里学園小学部・吉里吉里学園中学部）を指定
3校の主な活動内容：防災研究活動、地域の方々との環境整備活動・避難訓練の実施、共同募金活動等
- ②キャップハンディ体験教室
大槌学園4年生が実施 76人参加
- ③出前講座（介護予防運動・レクリエーション等） 8回開催
- ④町民ボランティアの育成
登録者数：引越しボランティア … 8人 雪かきボランティア … 29人
レクリエーション兼キャップハンディサポーター … 8人
- ⑤ボランティアの活動支援
ボランティア受入数：10団体 49人（イベント：2人 草刈り：4人
花壇整備：21人 屋内外清掃：20人 体験学習補助：2人）
○キッズマスクプロジェクト
目的：新型コロナウイルスの感染拡大の中で、子どもたちの健康を守る
作成協力者の孤立防止と生きがいづくり
共催：ドンドンダウン ※運営会社：㈱ドンドンアップ
協力：大槌町NPO・ボランティア団体連絡協議会、大槌町老人クラブ連合会、大槌町連合婦人会、ボランティアサークル
実施期間：令和2年6月～8月
作成枚数：1,199枚 町内認定こども園、幼稚園、保育園へ配布
- ⑥ボランティア保険加入促進
活動保険：17件（468人加入） 行事保険：46件（2,419人加入）
福祉サービス総合補償：2件（105人加入）
送迎サービス補償：1件（8人加入）
- ⑦大槌町NPO・ボランティア団体連絡協議会の運営
参加団体：15団体
会議、イベント（3.11集い～灯火～）などの開催
- ⑧ボランティア研修会の開催
1回開催 14人参加
※3回開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回中止



キャップハンディ体験教室



出前講座



キッズマスクプロジェクト（贈呈式）



ボランティア研修会

地域福祉の要となるネットワークと連携体制づくり

- ①広報等による情報発信
社協会報、社協だより、おれんじ通信（生活支援相談員事業）、おひさま便り（介護保険事業）等の発行、ホームページの公開
- ②生活支援相談員による定期訪問活動
訪問回数 11,157 回
○地域見守り支援拠点「こ茶っこ」
県営上町アパート集会所へ設置：122 日開所
延べ 1,872 人利用
- ③コミュニティソーシャルワーカーの配置
研修修了者 15 人



生活支援相談員の訪問



こ茶っこ事業

多様な主体の連携による安心の生活支援サービスづくり

- ①日常生活自立支援事業
利用者 12 人
- ②移送サービス事業
利用人数 11 人 運行回数 56 回
- ③あんしん助っ人便事業（買い物・見守り支援）
登録者数 9 人 注文件数 10 件
- ④配食サービス事業 ※町の委託事業
実施日数 37 日（毎週木曜日の昼食） 延べ 536 食
- ⑤居宅介護支援事業（ケアプラン作成）
- ⑥訪問入浴介護事業
- ⑦訪問介護事業
- ⑧通所介護事業（大槌町デイサービスセンターはまぎく）
- ⑨小規模多機能型居宅介護事業
（ほっとおおつち、ハイスこづち）
- ⑩障がい者就労継続支援事業【B 型非雇用型】
（ワークフォローおおつち）
- ⑪生活困窮者自立支援事業
新規相談件数：35 件 支援プラン作成件数：35 件
就労件数：2 件 食料支援件数：33 件
- ⑫たすけあい金庫貸付事業
1 件 40,000 円
- ⑬生活福祉資金貸付事業 ※県社協の委託事業
30 件 7,230,000 円



ほっとおおつち（お花見ドライブ）



ハイスこづち（レク活動）



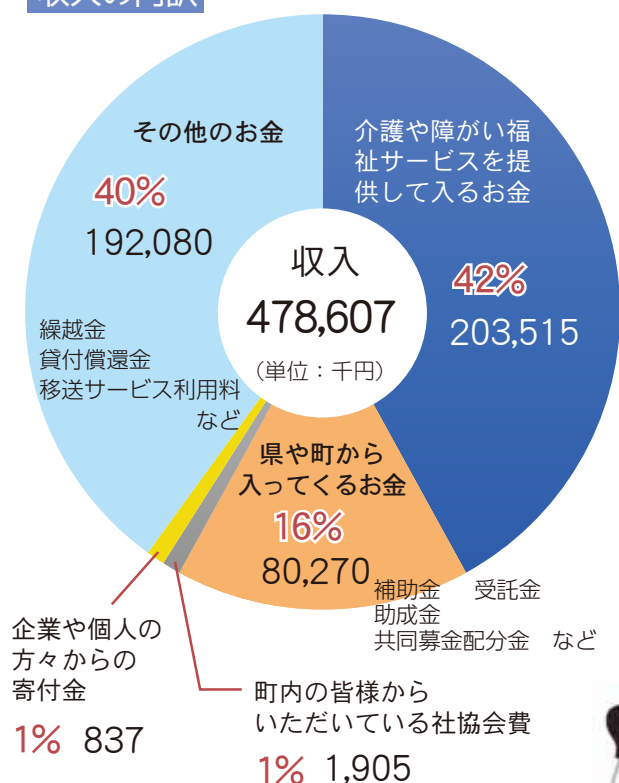
生活困窮者自立支援事業
（食料支援）

地域福祉を推進するための基盤づくり

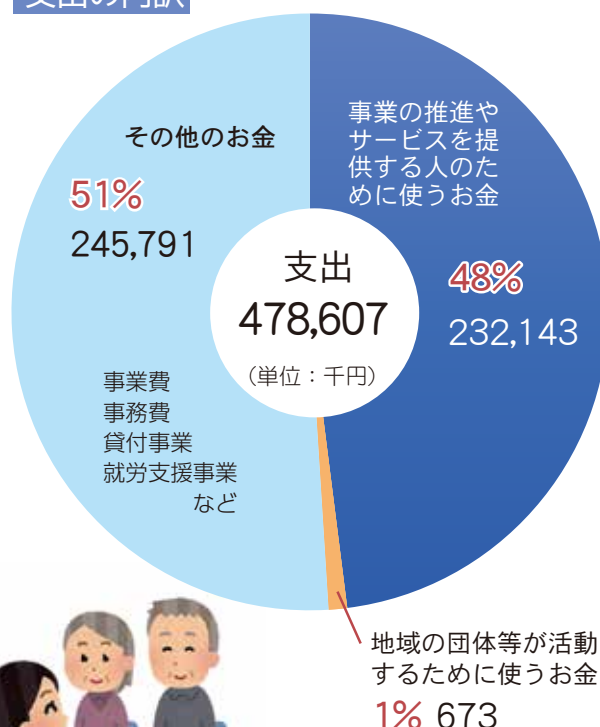
- ①寄付金・義援金 17 件 699,368 円
- ②寄贈物品 14 件
《主なもの》車椅子、車椅子用体重計、新型コロナウイルス感染予防用品、雑巾
- ③社協会費加入運動の促進 3,805 世帯 1,905,000 円

令和2年度 決算の概要

収入の内訳

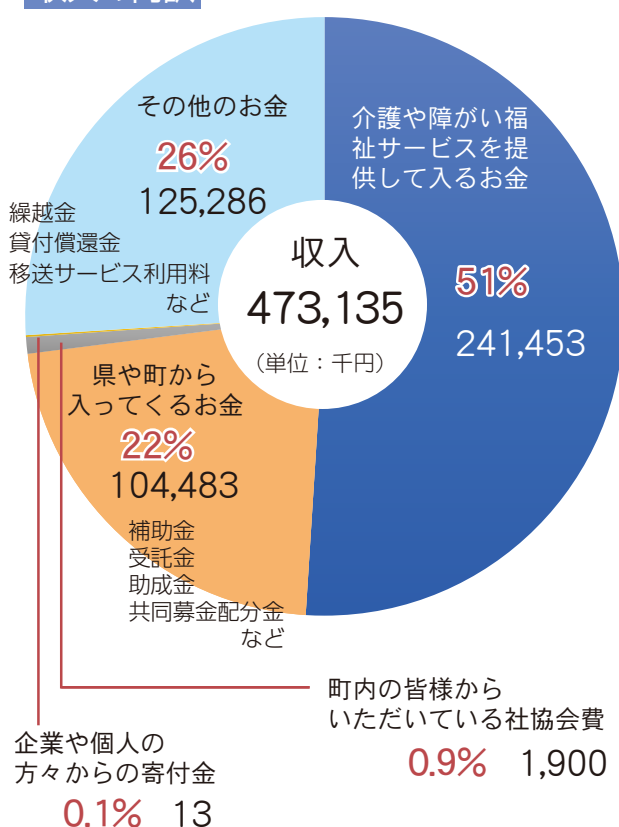


支出の内訳

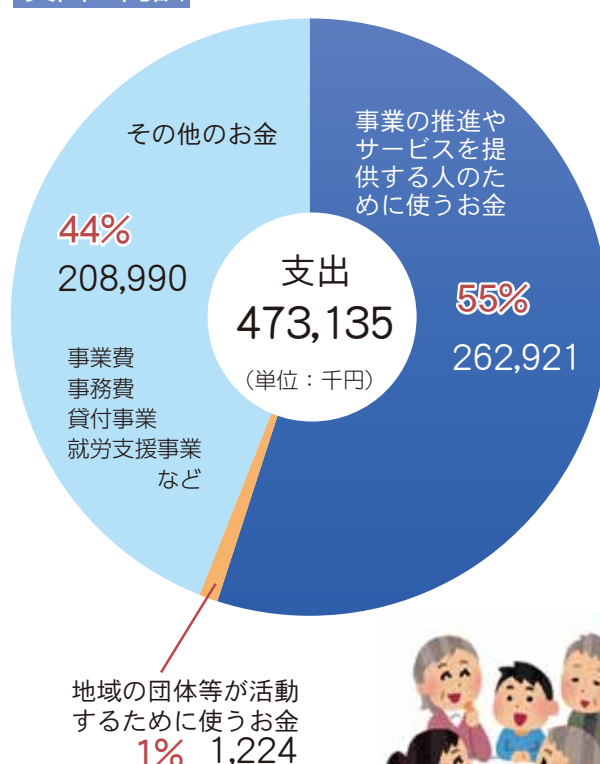


令和3年度 予算の概要

収入の内訳



支出の内訳



令和3年度 大槌町社会福祉協議会 事業計画

基本理念

- 1、私たちは、だれもが安心して暮らせる「おおつち」の地域づくりをめざします。
- 1、私たちは、個人の意思と人権を尊重しその生活を支えます。
- 1、私たちは、常に地域の満足・利用者の満足・職員の満足をめざします。

上記、基本理念のもと、以下の基本目標に取り組んでまいります。

基本目標

1

一番身近で、頼りになるコミュニティづくり

住民同士の支え合いのきっかけづくりを目的に、より多くの人々が参加、協力できる機会をつくります。福祉まつりやサロン活動、住民支え合いマップ作りなどに、民生委員やボランティア団体等と連携して取り組みます。



基本目標

2

地域福祉の担い手づくり

地域福祉の担い手を育てるために、子どもから高齢者まで、多くの町民が参加できるような取り組みを行い、誰もが自分の思いや得意なことを生かせる場として、ボランティア活動の支援を行います。また、地域福祉への関心を高めるために福祉教育の充実を図ります。



基本目標

3

地域福祉の要となるネットワークと連携体制づくり

地域の現状や、福祉の課題に関する情報を、広く町民と共有するきっかけづくりとして、広報等を活用し、町民に親しまれる情報の発信を行います。情報発信は多方面に向けて、適切で効果的な方法を考え、実施します。



基本目標

4

多様な主体の連携による安心の生活支援サービスづくり

支援を必要としている人の状況に応じて、きめ細やかな福祉サービスの提供に取り組みます。また、関係機関と連携して、福祉サービスを適切に受けられる体制づくりに努めます。福祉サービスの提供にあたっては、一人ひとりが自立に向けて努力できるように支援します。



基本目標

5

地域福祉を推進するための基盤づくり

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づく大槌町唯一の町全体を活動範囲とする団体として、幅広い役割が期待されています。

社協活動の役割や使命を明確にし、事業を実施していくための体制づくりや、社協事業を広く町民に知ってもらい、理解していただくため、活動の見える化と情報提供を行います。

また、地域福祉活動に取り組むため、積極的に助成金や補助事業、委託事業などの財源を確保し、地域福祉を推進するための基盤づくりに取り組み、身近で頼られる社協をめざします。



ふるさと応援センター活動紹介

～“おもっせえ大槌”へ！地域づくりのお手伝い～

震災後10年が過ぎ、様々な地域課題が生じている中で、住み慣れた地域で暮らし続けていくために、地域課題の解決に向けて、行政機関・各種団体・企業等と地域とのつながり、地域を超えた住民同士のつながりが求められています。

そこで、令和3年4月に大槌町から「大槌町ふるさと応援センター事業」が委託され、ふるさと応援センター長1名とふるさと支援員4名が配置されました。

－ふるさと支援員の主な活動内容－

- ①地域資源の現状やニーズ（課題）把握
- ②地域コミュニティの立ち上げや運営支援
- ③地域づくりに関する事業の周知や普及、協働体制づくり
- ④生活支援相談員との協働による地域活動支援
- ⑤地域づくりを支援する各種機関との連携
- ⑥その他地域づくりに関する活動



地域のみなさんといっしょに地域と多様な団体がつながる活動を行います

ふるさと支援員の活動の様子



生活支援相談員と協働した訪問・声掛け



地域の会議への出席



地域サロンへの参加・開催支援（現状把握やニーズ調査）



地域の話し合いの場への参加・調整



関係機関との連携・協働（行政等へのつなぎ）



総合相談窓口
テーマ型コミュニティ形成支援

連携・協働する関係者からの声



ふるさと応援アドバイザー
岩手大学 特任助教 船戸義和氏

福祉コミュニティを充実させるためには、その基盤となる地域コミュニティを強化する必要があります。担い手不足が大きな課題となるなか、本事業は「つながる」ことで相乗効果を生み出す新しい地域づくりの取り組みで、社協の可能性を広げる貴重な一歩です。4名の支援員には前向きなエネルギーを感じます。これまで無関心だった人も覗いてみたくなるような、わくわくする活動を一緒につくり上げていきましょう！

ふるさと支援員の皆さんには、コミュニティ活動の支援ノウハウを最大限に生かし、地域の課題・ニーズ把握、地域活動の活性化等に取り組んでいただいております。生きがいや思いやりを感じることができる「おもっせえ」地域を町民の皆さんと共に築いていくため、ふるさと支援員と目的・目標を共有し、パートナーシップを築いていきます。



大槌町協働地域づくり推進課
主任 岩間裕歌氏



今回は、町内で高齢者の生きがいづくり活動を行っている「おおつち支え合い協議会」の皆さんにインタビューを行いました。

■どういった活動をしているの

月に1回 各地区の集会所、公民館で高齢者向けのサロン活動と、週に1回おしゃっちで包括支援センターと共催でサロン活動を行っています。



おおつち支え合い協議会のメンバーとサロン参加者

■活動のきっかけは

町内の住民主体の支え合い活動について考えていこうと4つの団体（堤福祉会、あかね会、新生おおつち、ワーカーズコープ）が協力して平成27年に協議会を立ち上げました。活動の最初としては『居場所づくり』をテーマにサポーター養成講座を行いました。その講座を修了した受講生と、月1回各地区を回るサロンを開催し、サポーターの輪を広げる取り組みを行っています。



サロン活動の様子
(レク：枯れ木に花を咲かせましょう)

■大変だったことは

コロナ禍で、思うように活動ができずにいることです。感染状況をみながら開催を中止や延期することがあり、参加者の皆さんが楽しみにしてくれている昼食提供もしばらくできていません。美味しいものを食べながら会話ができる時間を早く取り戻したいです。



サロン活動の様子（ピンコロ体操）

■これからの目標

いつでも誰でもふらっと立ち寄れる、そんな居場所づくりを進めていきたいと考えています。また、もっとたくさんの町民の皆さんと一緒に地域を支え合いについて考える機会を持ちながら、町内に支え合いの輪を広げていきたいと考えています。

支え合い協議会のメンバーは20名程いるそうです。これからも支え合いの気持ちで、大槌町を盛り上げていきましょう。



～ご寄付のお知らせ～

令和3年2月から令和3年5月までの受付分をご紹介します。ご支援いただきました皆さまありがとうございました。（敬称略）

【寄附金一覧】

○株式会社 ブリッジ …… 50,000 円
○麴町四丁目町会 …… 100,000 円

○三重県松阪市社会福祉協議会 職員有志一同 … 84,184 円

【寄贈品一覧】

○株式会社 東流社 代表取締役社長 芳賀愉一郎 …… マスク・除菌ウェットティッシュ
○釜石地区法人会 会長 新里 進 …… マスク・ペーパータオル・介護用手袋・ハンドスキッシュ
○富士ゼロックス岩手県代表取締役社長 佐藤 敏之 …… 車椅子2台
○公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会 …… パルスオキシメーター
○ひつじの会（編み物ボランティアグループ） …… 座布団・ひざ掛け

幸せの写真館

2男4女の
仲良し大家族！
家族思いのパパが
撮ってくれました☆



「はい、チーズ！」
で、いい笑顔☆



【ちびっ子あるある】
気がつくと黒ひげに
なっている…。笑



☆大和魂☆
6年生
最後の運動会



仲良し姉妹♪
このほっぺが
たまらないのよねえ〜♡



お知らせ

大槌町社会福祉協議会では、自治会や団体などに物品（イベント用品、作業用品、レク用品）の貸出を行っております。

例えば

- イベント用品…テント、テーブル、パイプイス、綿あめ機、ポップコーン機など
- 作業用品……草刈り機、カマ、スコップ、一輪車など
- レク用品……スカットボール、ポケネット、輪投げセットなど

地区でイベントなど行う際はぜひご活用ください！



大槌町社協ホームページ情報

町民の皆様には社会福祉協議会として、よりよい情報をお届けできるようホームページを開設しています。パソコン、携帯電話などでご覧ください。

携帯サイト
携帯電話でもサ
イトの一部を公
開中です。



<http://www.otsuchi-shakyo.jp/>

編集後記

5月から新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、早い方は2回目の接種が終わったのではないのでしょうか。マスクを付けた状態で、久々にお会いする方に挨拶をする「誰だっけ？」という顔をされるのは私だけでしょうか…。マスクを外してみなさんと会話できる日を待ち遠しく感じています。